



蓮池わーるど

〈校長室から〉 R3.11.25 No.10

はやいもので、もう12月。街も冬の装いになりました。体育の授業では、先日から「RUN ランタイム」が始まり、5分間で走ることができる距離を測定して、持久力を身につけています。

新型コロナウイルス感染症により、制限がかかることが多かったこともあるのか、子どもたちの体力が落ちてきているのではないかと感じる場合があります。寒くなる時期はではありませんが、元気に外に出て、体づくりをしてほしいと思っています。

また、体育委員会の子どもたちが、「大縄とび大会」を計画してくれました。11月末から12月初めにかけて学年ごとに時間を設定し、各クラス3チームにわかれて大縄とびを行います。今は、休み時間や体育の時間に、運動場で練習しています。感染症対策を行いながらですが、徐々にできることを増やしていきたいと思っています。



これからの教育活動について

兵庫県では、新型コロナウイルスへの感染状況も落ち着き、これまで1学期から続いてきた緊急事態宣言及びまん延防止等重点措置が解除になりました。そこで、これまで「感染リスクの高い」とされてきた教育活動においても、マスクの着用はもちろん、換気・身体的距離の確保・手洗い消毒を徹底することで、これまで行ってこなかった活動も行えるようにしたいと思います。(音楽の鍵盤ハーモニカ、リコーダー演奏や家庭科の調理実習など)

コロナ禍以前と同様にはできませんが、子どもたちには小学生の間にいろいろな体験をさせていきたいと思っています。ご理解とご協力のほどよろしくお願いいたします。

裏面もあります。見てくださいね。

子どもたちへの心のケアについて

新型コロナウイルス感染症の影響で、大人だけではなく子どもたちもストレスを抱えています。

先日、県から子どもたちへの心のケアに関するアンケート調査結果が学校へ届きました。そのなかで気になったことは、「自分の気持ちが入りやすくなる方法を知っていて、実際にやっている」という質問で、「あてはまる」「少しあてはまる」と回答した児童が半数ほどであったことです。

また、「困ったことがあったとき、人に助けを求める」という質問で、「あてはまる」「少しあてはまる」と回答した児童が7割ほどだったことも今後取り組まなければならない課題ではないかと思っています。

学校には定期的にスクールカウンセラーがきております。また、播磨町にはスクールソーシャルワーカーも配置されています。このような専門家との連携を図りながら、子どもたちの心のケアをご家庭と学校で協力しながら取り組んでいきたいと思っております。お子様のことで気になることや、お困りのことがあればご相談ください。

兵庫県教育委員会ではこのような子どもたちの支援の一つとして、兵庫県教育委員会義務教育課のホームページに、「心のケア動画」をアップしています。呼吸や簡単な運動で緊張をほぐす方法を紹介しています。

学校でも全校朝会で呼吸法について紹介をしました。ご家庭でも子どもたちと一緒に取り組んでみてはいかがでしょうか。

兵庫県教育委員会 義務教育課 「心のケア動画」

<https://www.hyogo-c.ed.jp/~gimu-bo/10kokoromovie/kokoromovie.html>

